

一宮水蜜(いちのみやすいみつ)

登録番号：第2098号

育成者：古屋弘起

登録年月日：平成2年2月6日

来歴：「浅間白桃」の枝変わり

登録者：山梨一宮農業協同組合(山梨県
東八代郡一宮町金田1305番地)

育成地：山梨県東八代郡一宮町

特性

■栽培特性

樹勢および樹の開張度、枝梢の太さ、節間長は中程度である。葉は大きく葉身の形は極長である。花芽の着生は良好で、花は普通咲き、花の大きさは中程度である。花卉の色は淡桃色で花粉はあるが少ない。

満開から成熟までの日数は121～130日の範囲にあり、育成地での成熟期は8月中旬で川中島白桃よりやや早い。生理落果および核割れは無く裂果はわずかである。

■果実特性

果実の外観は円形で、果頂部の形は平、こうあは広く深さは中ぐらい。赤道部および果頂部の縫合線は浅い。果実の大きさは極大(350g)で、果実の地色は乳白、果皮の着色は容易で濃紅に全面着色する。着色の形はぼかしである。果肉の色は白、果肉内および核周囲の着色は少ない。

果肉は緻密で、果肉繊維は少ない、糖度は15% (Brix) と高く甘味が多い。酸味は少ない。核と果肉の粘離は粘核で、核の形は楕円形、大きさは中である。「浅間白桃」と比較して、花粉が有ること、成熟期が遅いこと等で、「一宮白桃」と比較して、果実の外観が円であること、果皮の着色が多いこと等で、「川中島白桃」と比較して花粉が有ること等で区別される。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

慣行防除のもとでの試作の範囲では、特に問題となる病害虫の発生は認められていない。無袋栽培では果実の陽光面に微裂果が見られるため有袋栽培とする。晩生種で極大果となるため樹勢の維持と枝の下垂に注意して、せん定や新梢管理を行う。

■地域適応性

栽培上特に問題は認められないため適応範囲は広いと思われるが、モモ主産県の出荷盛期と重なるため品種特性を発揮させるとともに品質管理に努め需要を維持する必要がある。なお、本品種は品質、栽培性ともに良好であるため、平成12年に山梨県農作物奨励品種に選定されている。

(猪股雅人)